

平成 24年度の中間報告(現状と課題)

1. 総合相談事業

(1) 相談件数

167件 平成24年4月1日～平成24年9月30日(別紙参照)

(2) 主な相談内容

介護サービスに関する相談・調整、入院・入所に関する相談・調整が、訪問・電話相談ともに多かった。

(3) 実態把握調査

9月までには、実態把握調査はできなかったが、3月中に、保健部門と合同で、独居高齢者の調査を実施する予定でいる。

(4) 福祉用具の貸し出し

入浴台や、歩行支援車の貸し出しが多いという状況は変わっていない。利用者は、実際に使用し、購入前に判断材料とするために借りることが多い。

2. 権利擁護事業

(1) 高齢者虐待防止ネットワーク事業

高齢者虐待相談数 0件 (虐待認定数 0件)

① 高齢者虐待相談について

相談件数はなかった。老老介護はますます増えており、介護負担は重くなる傾向が続いている。介護者支援を充実させ、虐待を未然に防ぐようサービス事業所等との連携に努めている。

(2) 成年後見制度利用支援事業

相談数 0件

上半期に相談はなかったが、浜益区は独居高齢者が多く、今後本事業が必要な高齢者の増加が予想される。制度に関する情報を各種研修会や各関係機関より収集し、相談が来たときにスムーズに対応ができるようにしている。今後もこの制度については、区民に周知を図っていく。

3. 包括的・継続的なマネジメントについて

(1) ケアマネジメント支援について

担当ケアマネ1人では対処困難なケースには、必要に応じ同伴訪問をするなど、職員間の連携はもとより、関係機関との連絡・連携に配慮している。また、定期的に関

催しているサービス担当者会議を活用し、支援が難しいケースに対応している。

(2) 継続的支援について

継続的支援のため、高齢者の入院先や老健施設における退院時ケアカンファレンスへの出席に努めている。

(3) ケアマネの集い

浜益区介護支援専門員連絡会《通称：浜ケアネット》は、定期的を開催し、事例検討や学習会を実施し、介護支援専門員同士の連携を深め、質の向上を目指している。また、浜ケアネット主催で、区内の介護職員を対象に学習交流会を開催することができ、介護職員同士の連携とスキルアップに貢献している。

4. 介護予防事業

(1) 一次予防事業

各地区の高齢者クラブにおいて転倒予防教室を実施した。6 地区、34 回、実参加者 75 名、延 323 名の参加があった。

平成 21 年度より実施している、くもん式脳健康教室「いきいき楽習」は、6 月より毎週 1 回 9 月末までに 14 回開催し、実参加者 18 名、延 185 名で、昨年度並みの参加数であった。

(2) 介護予防支援ケアマネジメント（要支援者関連）について

① 予防支援給付管理実施	30 件 (H24. 9 月末)	月平均	30 件
② H24 年度新規支援件数	8 件		
③ 介護予防支援委託事業所数	2 箇所	介護予防支援委託人数	2 件